

中国星座名義考(その2)

大崎正次*

- 110 尾宿^ビ9 尻の尾。二十八宿の第6宿。青龍の尾にあたる。(後宮。九人の男子)一蝸 $\mu \cdot \varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot \theta \cdot \iota \cdot \kappa \cdot \lambda \cdot \nu$.
- 111 神宮^{シンキョウ}1 天神をまつる神殿。(衣服をかえる奥部屋)一蝸 101G (上).
- 112 天江^{テンカウ}4 天を流れる大川。天の河。[月の精を主さどる]一蛇遣 99G · 36 · $\theta \cdot b/A \cdot \theta \cdot b \cdot c$ (小).
- 113 傳説^{ワズ}1 殷の高宗武丁が夢に見て得た賢臣。古伝説によると、死後天に上って星になったという。[神に告げる祝詞。巫祝一神と人との間にたつて仲立ちする神官を主さどる]一蝸 G/λ (藪).
- 114 魚^{イサ}1 うお。さかな。[秘密の事を主さどる]一蝸 G · 166G (藪).
- 115 龜^{カメ}5 かめ。神の使者。神意を甲羅に宿すといわれる靈獸。[吉凶を占うことを主さどる]一祭壇 $\varepsilon \cdot \gamma \cdot \delta \cdot \eta \cdot \zeta/\alpha$ 。蝸 181G (藪).
- 116 箕宿^ヒ4 穀物をあふりふるって穀や塵をふるいわける農具一み。糞便をうけるもの。二十八宿の第7宿。青龍の尾にあたる。(后妃の別宅。天界の風の吹き出る口。天鷄) [八方から吹く風を主さどる]一射手 $\gamma \cdot \delta \cdot \varepsilon \cdot \eta$.
- 117 糠^{コメ}1 ぬか。[米の皮や、皮ばかりで実のないもみをふるいわけることを主さどる]一蛇遣 45/12G (藪).
- 118 杵^{シロ}3 きね。[No. 162] [杵について料理をつくることを主さどる]一祭壇 $\sigma \cdot \alpha$ /望遠鏡 α (藪).
- 119 斗宿(南斗)^ト6 南天にかかるとひしゃく。北斗 [No. 3] に対して南斗という。二十八宿の第8宿。北方を守護する靈獸である玄武一龜と蛇のよりあった形。龜の甲羅の前部にあたる。(天の賞禄局)[天子の寿命を主さどる]また(天帝の廟)。[すぐれた人物を推挙し、爵位や俸禄を授けることを主さどる]一射手 $\phi \cdot \lambda \cdot \mu \cdot \sigma \cdot \tau \cdot \zeta$.
- 120 龍^{リウ}14 すっぽん。どろがめ一南冠 $\theta \cdot \kappa \cdot \gamma \cdot \alpha \cdot \beta \cdot \delta \cdot \zeta \cdot \eta$ · 望遠鏡 α .
- 121 天淵^{テンエン}10 水が深くよどんでいる所。(天の池・泉・海) [灌溉。掘削を主さどる]一射手 $\alpha \cdot \beta/\theta$ (藪)
- 122 狗^コ2 こいぬ。犬は家を守る家畜。また狩猟にも用いられた。死後もなお主人を悪霊から守る忠実な家畜として墓の中に入れられたこともある。[No. 260] [吠えて家を守ることを主さどる]一射手 $51 \cdot \chi/\phi \cdot h$ (小)/h (藪).
- 123 建^{ケン}6 たてること。定めること。(天の旗。天の太鼓)一射手 $\xi \cdot o \cdot \pi \cdot \rho \cdot \nu \cdot 43$.
- 124 天弁^{テンベン}9 天上での論議。天子のかぶるかんむり。(天の市場を管理する市長) [商店や市場の記録を主さどる]一楯 $\alpha \cdot \delta \cdot \varepsilon \cdot \beta$ · 鷲 12 · $\lambda/1 \cdot 4$ (藪).
- 125 天鷄^{テンキ}2 夜の明けたことを鳴いて知らせるにわとり。古代伝説によると、桃都山の桃の木に住んでいた鷄は、毎朝太陽が上ると、他の鷄にさきがけて鳴いて夜明けを知らせたという。鷄はまた魔よけの靈力をもつと信ぜられていた。[時刻をうかがうことを主さどる]一射手 55 · 56.
- 126 狗国^{コク}4 古代中国人が異民族の小国をいやしんでよんだ名。[異民族の国を主さどる]一射手 $\omega \cdot 60 \cdot 62 \cdot 59$.
- 127 天籥^{テンヨウ}8 天門を開閉するかぎ。[No. 102 · 103] [天門の開閉を主さどる]一射手 4 · M20 · 蛇遣 58 · 52 · 51 · 射手 X/4 · M20 · 14 · 1 · M8 (小).
- 128 農丈人^{ノウジョウジン}1 老農夫。丈人は杖をついて歩く老人。[No. 254] [耕作を主さどる]一Boss 4679 (藪).
- 129 牛宿(牽牛)^{ウシ}6 うし。二十八宿の第9宿。いけにえにつかう牛をひくこと。玄武の龜の甲羅にあたる。(天の関所と橋)[犠牲獣のことを主さどる]牛は馬・羊とならんで最も重要な犠牲獣であった。七夕伝説の牽牛星は後出の河鼓 [No. 131] にあたり、ここでは関係がない。一山羊 $\beta \cdot \alpha \cdot \zeta \cdot \rho \cdot \pi \cdot o$.
- 130 天田^{テンテン}9 祖靈に供えるため天帝自ら耕される田。[No. 80]一山羊 $\omega \cdot 24 \cdot \phi$ /蝸 13 (藪).
- 131 河鼓^{カコ}3 天の河にひびきわたる太鼓。(天軍の太鼓)太鼓の音は天地陰陽の気を動かし、軍隊の士気を振いたたせると考えられていた。[軍鼓や刑罰の道具おのやまさかりを主さどる] 古代から民間説話として伝えられる七夕説話の牽牛星にあたる一鷲 $\beta \cdot \alpha$ (Altair) · γ .
- 132 左旗^{ササ}9 軍鼓につく左の飾り旗一矢 $\alpha \cdot \beta \cdot \delta \cdot \gamma \cdot 13 \cdot 11 \cdot 14$.
- 133 右旗^{ウサ}9 上記と同じ。右の旗。[ともに声音・要害を備えて、敵の謀りごとにそなえることを主さどる] 鷲 $\mu \cdot \sigma \cdot \delta \cdot \nu \cdot \iota \cdot 42 \cdot \kappa \cdot 57$.
- 134 織女^{オリメ}3 機(はた)を織る女。七夕説話の織女。(天

* Shōji Ōsaki: Names of constellations in ancient china and their meanings.

- 帝の娘また孫) [果物・絹布・宝物を主さどる]—
琴 α (Vega)・ ε ・ ζ .
- 135 漸台^{ゼンダイ}4 池の中にある高い台。漸は水がひたひたとよせているの意。[時計や音楽の楽律を主さどる]—
一琴 δ ・ β ・ γ ・ ι .
- 136 輦道^{レンドウ}5 天帝の乗る手車の通る道。(天帝遊行の道)—
一琴 r ・ η ・ θ ・白鳥 4・8/琴 13 (藪).
- 137 九坎^{クウカン}9 九つの水路。九は多くの意。坎は泉や川から耕作地へ水をひく掘割りをいう。[灌漑, 水害, 旱害を主さどる]—頭微鏡 ζ ・ η /インド人 α 射手 ι (藪).
- 138 羅堰^{ラエン}3 長い堤防の水をせきとめる所。(巨大な馬) [堤防をつくり水をたくわえ, 灌漑することを主さどる]—山羊 τ ・ ν ・17.
- 139 天桴^{テンブク}4 天界に時刻を知らせる太鼓をうつばち。[時計を主さどる]—鷲 θ ・64・62・ η .
- 140 女宿(須女)4 おんな。須女は身分・職業のいやしい女。二十八宿の第10宿。玄武の亀の甲羅にあたる。[布を織ったり, 縫うこと, 結婚のことを主さどる]—水瓶 ε ・ μ ・5・3.
- 141 十二国^{ジュニクニ}16 戦国時代, 互に覇権を争った12の国。天文分野で示せば, 北方では斉・衛・魯, 西方では趙・魏・秦, 南方では周・楚・鄭, 東方では宋・燕・呉越にあたるはずであるが, 天文占の上では, 斉・趙・鄭・越・周・秦・代・晋・韓・魏・楚・燕の12国をあてている—山羊 θ ・ η ・ χ ・ φ ・ ζ ・37・30・30/ ι ・19・17 (小).
- 142 離珠^{リシュ}5 ばらばらに離れた真珠または玉(ギョク)。真珠や玉で飾った女性の美服。(須女の蔵。女性の星) [天子の旗の飾り珠, 後宮夫人の飾り帯ひもを主さどる]—鷲 70・71・69・68/鷲 1 (上).
- 143 奚仲^{キチュウ}4 夏の時代, 禹王の家臣で, はじめて車を作り, 車正—運輸関係の長官に任ぜられたと伝えられる。[天帝の車係りの官を主さどる]—白鳥 κ ・ ι ・ θ .
- 144 天津^{テンシン}9 天の河・渡し場。舟着き場。みなと。[天の河や四瀆 [No. 245] の渡しや橋を主さどる]—白鳥 γ ・ δ ・ θ ・ α (Deneb)・ ν ・ τ ・ ν ・ ζ ・ ε .
- 145 敗瓜^{バイカ}5 うれすぎで地に落ち割れた瓜。[果物の栽培を主さどる]—いるか ε ・ η ・ θ ・ ι ・ κ .
- 146 匏瓜^{ホウカ}5 ひさご。ふくべ。ひょうたん。二つに割って容器とする。(天帝の果樹園)[後宮を主さどる]—いるか α ・ γ ・ δ ・ β ・ ζ .
- 147 扶筐^{フコウ}7 とってのついたかご。(桑の葉をいれる器) [養蚕をすすめることを主さどる]—竜 46・45・39・ θ ・48・49・51.
- 148 虚宿^{ソウシュク}2 うつろなこと。二十八宿の第11宿。玄武の亀の甲羅にあたる。(人の住まぬあきや。天の宰相) [死者に対する哭泣。[No. 153, 154], 北方の土地や廟堂の祭祀, 祈禱のことを主さどる]—水瓶 β ・小馬 α .
- 149 司命^{シメイ}2 人間の生死, 運命を主さどる神。[過ちを指摘し, 刑罰を行い, 不幸なできごとを減らし, 人の運命死亡を主さどる]—ペガサス 11・水瓶 24.
- 150 司禄^{シロク}2 人民の人口, 収穫の量を奏上し, 役人の俸禄事務を主さどる官。[寿命を延ばし, 徳をひろめること, 功賞・食禄・官爵のことを主さどる]—ペガサス 7・4/水瓶 27 (藪).
- 151 司危^{シキ}2 不明。[高層の宮殿建築を主さどる]—小馬 β ・9.
- 152 司非^{シヒ}2 不明。[過失を主さどる]—小馬 γ ・ δ .
- 153 哭^ク2 死者の霊に対する儀礼のひとつで, 葬儀・埋葬の際。大声をあげて泣き叫ぶこと。[葬礼を主さどる]—水瓶 μ ・38/山羊 γ ・ δ (小)/山羊 33 (藪).
- 154 泣^{ナク}2 上記と同じ。声を立てずしくしくと泣くこと。中国では葬儀・旅行・送別など人とわかれる際, 泣いて別れることが礼儀であった。[葬礼を主さどる]—水瓶 θ ・ ρ / ι → θ (小・藪).
- 155 天壘城^{テンライシヨウ}13 天界の要塞。とりで。[北方民族の侵入を防ぐことを主さどる]—水瓶 ξ ・山羊 46・ λ ・水瓶 18・ ν ・19/南魚 θ (藪).
- 156 離瑜^{リユ}3 玉で飾った女性の美服—頭微鏡 γ ・ δ /南魚 4 (藪).
- 157 敗臼^{ハイキョウ}4 こわれたうす。[敗亡, 災害を主さどる]—南十字 γ ・ λ ・南魚 γ ・ δ /南魚 ι ・36G (藪).
- 158 危宿^{キシュク}3 あやういこと。二十八宿の第12宿。玄武の亀の甲羅の後部にあたる。(天帝の祖廟天帝の行う土木事業, 建築) [天の倉庫, 建築を主さどる]—水瓶 α ・ペガサス θ ・ ε .
- 159 虚梁^{ソウリョウ}4 内部がうつろな建てもの。墓。[天子の墓や祖先をまつる宗廟を主さどる]—水瓶 44・51・ κ ・ Σ 2944.
- 160 天錢^{テンセン}10 天界でつかわれる貨幣。[貨幣, 絹織物を主さどる]—南魚 13・ θ ・ ι ・ μ ・ τ /水瓶 47 (藪・小).
- 161 墳墓^{フンボ}4 墳は土を高く盛り上げた大きなはか。墓は平らな小さなはか。[葬式, 墳墓を主さどる]—水瓶 ζ ・ γ ・ η ・ π .
- 162 杵^{シロ}3 きね。[No. 118] [軍隊の食糧を主さどる]—とかけ 1・ペガサス π /Boss 5724 (藪).
- 163 臼^{ウス}4 うす。[上記と同じ] 家の中の生活に関する諸道具にはそれぞれ精霊が宿っているとされた。杵臼のほか井戸 [No. 235, 237]. かまど。門, 戸, 箕 [No. 116], 箆 (ほうき)。便所 [No. 186, 238] みな同じである—白鳥 μ ・ペガサス κ

- ・ ι ・32.
- 164 蓋屋² 屋根のある建物。〔宮殿の造営を主さどる〕
—水瓶 θ/γ (藪).
- 165 造父⁵ 周の穆王に仕えた名御者。一日に千里を走る馬車を駆って、王と共に四方を征したと伝えられる。〔宮中の馬事を主さどる〕—ケフェウス $\delta \cdot \zeta \cdot \lambda \cdot \mu \cdot \nu$.
- 166 人⁵ ひと、人民、農民—ペガサス $2 \cdot 1 \cdot 12 \cdot 9/16$ (藪).
- 167 車府⁷ 宮中の乗りものをおさめる車庫。〔車庫係りの役人、賓客の館を主さどる〕—とかげ $15 \cdot 2 \cdot 白鳥 \rho \cdot 59 \cdot \xi \cdot 74/79$ (藪).
- 168 鈎⁹ かぎ。〔No. 102〕〔天帝の乗車、服飾を主さどる〕—ケフェウス $4 \cdot \eta \cdot \alpha \cdot \xi \cdot \iota \cdot \theta/\beta$ (藪).
- 169 室宿 (宮室)² 部屋。垣根でかこまれた家屋。二十八宿の第13宿。玄武の蛇にあたる。(天帝の宮殿。軍隊の糧食の倉庫)〔天帝の土木工事を主さどる〕—ペガサス $\alpha \cdot \beta$.
- 170 雷電⁶ かみなりといなづま—ペガサス $\zeta \cdot \xi \cdot \sigma \cdot \rho \cdot 55 \cdot 70$.
- 171 離宮⁶ 天子の別宮。〔天子の隠退や休息を主さどる〕—ペガサス $\lambda \cdot \mu \cdot \theta \cdot \eta \cdot \tau \cdot \nu$.
- 172 壘壁陣¹² 土でかためたとりで。要塞。羽林軍〔No. 178〕のとりでである。〔天軍の兵舎を主さどる〕—山羊 $\kappa \cdot \varepsilon \cdot \gamma \cdot \delta$ ・水瓶 $\iota \cdot \sigma \cdot \lambda \cdot \phi$ ・魚 $27 \cdot 29 \cdot 30 \cdot 33$.
- 173 騰蛇²² 天に馳せ昇り北方を守護する神蛇。竜の一種であり、雲や霧をまき起し、その中に遊ぶ神獣。〔水にすむ動物を主さどる〕—とかげ $\alpha \cdot 4 \cdot \pi^{2 \cdot 1}$ ・ケフェウス。とかげ $\beta \cdot カシオペア \sigma \cdot \rho \cdot \tau \cdot \varepsilon/Boss 5914$ (藪).
- 174 土功吏² 土木營繕を職掌とする官。〔No. 187, 283〕〔その官を主さどる〕—ペガサス $31 \cdot 36/\zeta \cdot \xi$ (小).
- 175 北落師門¹ 宮城を守る門のひとつの名。北落は北の藩落すなわち北の垣根、師門は軍門の意。長安城の北門を北落門と名づけたのは、この星座の名からとったものである。〔非常事態に際して軍隊を以て守ることを主さどる〕—南魚 α (Fomalhaut).
- 176 八魁⁹ 8人のたくましい男。〔鳥獣を捕える狩猟官を主さどる〕—鯨 $6 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 9 \cdot 7/鳳凰 \alpha$ (藪).
- 177 天網¹ 天と地をつなぐ大綱。〔No. 11 参照〕〔軍隊の天幕を主さどる〕—南魚 δ/β (藪).
- 178 羽林軍⁴⁵ 天子の儀仗兵、行幸に従う親衛軍。〔天軍を主さどる〕—南魚 $\lambda \cdot \zeta \cdot \varepsilon$ ・水瓶 $\nu \cdot \tau \cdot \delta \cdot 68 \cdot \phi \cdot \omega/c^2$ (藪).
- 179 斧鉞³ 鉄鉞ともかく。おのとまさかり。諸侯や將軍が人民や部下の生殺与奪の権を天子から与えられたしるしとして授けられる。また斬殺の刑に使われる刑具。牧草を刈り取る道具。〔No. 184〕〔まぐさをきって牛馬を飼養することを主さどる〕—水瓶 $103 \cdot 104 \cdot 106 \cdot 107/彫刻室 \gamma$ (藪)
- 180 壁宿 (東壁)² かべ。東側の壁。二十八宿の第14宿。玄武の蛇にあたる。(宮殿の中にある図書室)〔文章を主さどる〕—ペガサス $\gamma \cdot アンドロメダ \alpha$
- 181 天廐¹⁰ 馬小屋。(馬を管理する官)〔駅亭、駅馬、急ぎの伝令を走らせることを主さどる〕—アンドロメダ $\theta \cdot \rho \cdot \sigma/22$ (藪).
- 182 霹靂⁵ 雷が急激にはげしく鳴ること。〔陽気が盛んで、万物がうちくちくちくを主さどる〕—魚 $\beta \cdot \gamma \cdot \theta \cdot \iota \cdot \omega$.
- 183 雲雨⁴ 雲と雨。〔雨水の恵みによって万物がはぐくみ育てられることを主さどる〕—水瓶 $\kappa \cdot \lambda$.
- 184 鉄鎖⁵ 腰斬の刑に使用される刑具。鉄はおの、鎖は金属のきり台。かなとこ。牧草を刈る道具。〔No. 179〕〔まぐさを切って牛馬を飼養することを主さどる〕—鯨 48.
- 185 奎宿¹⁶ また。またぐら。二十八宿の第15宿。西方を守護する靈獣白虎の尾。(天界にすむ豚)〔武力で暴力を抑えること、また灌漑用水を主さどる〕—アンドロメダ $\eta \cdot \zeta \cdot \varepsilon \cdot \delta \cdot \pi \cdot \nu \cdot \mu \cdot \beta \cdot 魚 \sigma \cdot \tau \cdot \nu \cdot \phi \cdot \chi \cdot \psi$.
- 186 天瀾⁷ 豚の飼育場を兼ねた便所。〔No. 238〕豕は豚。古代中国では便所の下の汲み取り口のよこにかこいをつくり、その中で豚を飼っていた—鯨 $21 \cdot \phi \cdot 18/20$ (藪) $25 \cdot 39 \cdot 42$ (小).
- 187 土司空¹ 水利土木を職掌とする官。〔No. 283〕〔土木建築水利のことを主さどる〕—鯨 β .
- 188 策¹ 馬を御するむち。名御者王良〔No. 191〕のむち。〔馬を御すること、天子の下僕をを主さどる〕—カシオペア γ/χ (藪).
- 189 附路¹ 傳路ともかく。本道が使用できなくなった時につかう予備の道路。次項關道のそばにある—カシオペア ζ/α (上)/Boss 247. カシオペア γ (藪).
- 190 關道⁶ 宮殿、楼閣をつなぐ渡り廊下。(紫微宮から天の河へ至る天帝の通るみち)—カシオペア $\iota \cdot \varepsilon \cdot \delta \cdot \theta \cdot \nu/\eta$. アンドロメダ ϕ (藪).
- 191 王良⁵ 春秋時代の名御者の名。名御者に馬がよくいうことをきくように、明君が国を治めると、人民がよくなつき、よく治まる例えに王良の名がよくひかれる—カシオペア $\beta \cdot \kappa \cdot \eta \cdot \alpha \cdot \lambda$.
- 192 外屏⁷ 門の外側におかれるへい。〔No. 42, 236〕〔便所の臭気をさえぎることを主さどる〕—魚 $\delta \cdot \varepsilon \cdot \zeta \cdot \mu \cdot \nu \cdot \xi \cdot \alpha$.

- 193 軍南門¹ 軍に出入する南の門。[軍門を出入する者を問いただすことを主さどる] [No. 281]—アンドロメダ φ /三角 α (藪)。
- 194 婁宿³ 不明。二十八宿の第16宿。白虎の尻にあたる。(天の牢獄) [天苑に放し飼っている犠牲獣を祭天のおまつりに供給することを主さどる]—牡羊 $\beta \cdot \gamma \cdot \alpha$ 。
- 195 天倉⁶ 天の穀物倉。都市にあるくら。または方形のくら。[No. 199, 201, 205]—鯨 $\iota \cdot \eta \cdot \theta \cdot \zeta \cdot \chi \cdot \tau \cdot \nu$ 。
- 196 右更⁵ 秦王朝の爵名。[牧場で飼育を職掌とする官を主さどる]—魚 $\rho \cdot \eta \cdot \pi \cdot \sigma \cdot 107$ 。
- 197 左更⁵ 上に同じ。(国有地の山林を管理する官) [山沢林藪竹木蔬菜の類を主さどる]—牡羊 $\nu \cdot \mu \cdot \sigma \cdot \pi \cdot / \theta$ (藪)。
- 198 天大將軍¹¹ 天の大將軍。[軍隊を主さどる]—アンドロメダ γ ・ペルセウス φ ・アンドロメダ 51・49・ $\chi \cdot \nu \cdot \tau$ ・三角 $\beta \cdot \gamma$ 。
- 199 天廩⁴ 屋根のない粗末な穀物倉。[No. 195, 201, 205] 調理場で使う穀物を積み上げておく所。[屋根のない物置場を主さどる]—炉 $\mu \cdot \iota \cdot 2 \cdot \beta / \nu$ (藪)。
- 200 胃宿³ 胃ぶくる。二十八宿の第17宿。白虎の背中にあたる。(穀物倉)[倉庫を主さどる]—牡羊 35・39・41。
- 201 天困¹³ 困は田園にあるくら。また円形のくら。[No. 195, 205] [天子の糧食を給することを主さどる]—鯨 $\alpha \cdot \kappa \cdot \lambda \cdot \mu \cdot \xi \cdot 1 \cdot 2 \cdot \nu \cdot \gamma \cdot \delta \cdot 75 \cdot 70$ 。
- 202 大陵⁸ 墓陵。天子のはか。[天子の喪に服される儀式を主さどる]—ペルセウス 9・ $\tau \cdot \iota \cdot \kappa \cdot \beta \cdot \rho \cdot 16 \cdot 12$ 。
- 203 積尸¹ 積み重ねた敵の屍体。戦勝のしるし。尸に二義あり、一は埋葬以前のなきがら、屍体をいい、二にはかたしるをさす。中国では祭祀のとき、まつる神靈は姿形がないため、それにかわる人形一ひとがた、画像のようなものをつくってそなえるのである。[No. 258, 262]—ペルセウス π 。
- 204 天船⁹ ふね。天の河のわたり船。[舟運を主さどる]—ペルセウス $\eta \cdot \gamma \cdot \alpha \cdot \phi \cdot \delta \cdot 48 \cdot \mu \cdot b$ 。
- 205 天廩⁴ 米倉。[No. 195, 201] [穀物を蓄え、祭祀に供することを主さどる]—牡牛 5・4・ $\xi \cdot o$ 。
- 206 積水¹ 貯えた水。[水害をうかがうことを主さどる]—ペルセウス λ 。
- 207 昴宿⁷ 不明。二十八宿の第18宿。白虎の背中にあたる。(天の耳目。旗の上部の装飾。北方民族の星) [西方及び裁判を主さどる]—牡牛 (Pleiades)。
- 208 芻藁⁶ 牛馬を飼う牧草。[牧草の類を主さどる]—鯨 $\rho \cdot 77 \cdot 67 \cdot 71 \cdot \varepsilon$ 。
- 209 天陰⁵ くもり空。うすくらしい空。薄明・黄昏。[天子に従って狩猟する臣を主さどる]—牡羊 $\zeta \cdot \delta \cdot \tau \cdot 63 \cdot 66/65$ (小)。
- 210 天河¹ 天の河。銀河。[山林の妖変を察することを主さどる]—牡羊 62。
- 211 卷舌⁶ こびへつらったり、告げ口をすること。[そのことを主さどる]—ペルセウス $\nu \cdot \varepsilon \cdot \xi \cdot \zeta \cdot o \cdot 40$ 。
- 212 天苑¹⁶ 天子の御苑。庭園。主として珍鳥珍獣を飼育する。[No. 230]—エリダヌス $\gamma \cdot \pi \cdot \delta \cdot \varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot \text{鯨} \pi \cdot \text{エリダヌス} \tau^{1-9}/35 \cdot 53$ (藪)。
- 213 天譴¹ 告げ口をして人をそしること。[祈禱によって病をなおす医者をも主さどる]—ペルセウス 42/0 (藪)。
- 214 月¹ つき。(月の中にいるひきがえる) [日月の反応、死者に対する喪のことを主さどる]—牡牛 37。
- 215 礪石⁴ めの荒いといし。[工人のよくとがれた刃物を主さどる]—牡牛 $\phi \cdot 44 \cdot \chi \cdot \varphi$ /ペルセウス P (藪)。
- 216 畢宿⁸ 鳥獣をおおいかぶせて捕える長柄のついた網の猟具。二十八宿の第19宿。白虎の背にあたる。(雨の精霊。辺境をおさめる將軍) [狩猟・辺境にいる將校を主さどる]—牡牛 $\varepsilon \cdot \delta \cdot \gamma \cdot \theta \cdot \alpha$ (Hyades)。
- 217 天節⁸ 天子から派遣される使節。天子の使者であることのしるしに与えられる割符・旗などを節という。[天子の威徳を四方にひろげることがを主さどる]—牡牛 $\pi \cdot \rho \cdot 57 \cdot 79 \cdot 90 \cdot 88 \cdot 66 \cdot \mu$ 。
- 218 九州殊口⁹ 中国の各地方の風俗・方言に明るい通訳官のこと。古代中国では全国を九州に分けたのである。—エリダヌス 39・ $o \cdot \xi \cdot \nu \cdot 55$ 。
- 219 附耳¹ 口を耳につけてひそひそと語ること。[政治の得失をきき、邪悪を明かにし、不祥を前以て察することを主さどる]—牡牛 σ 。
- 220 九旒⁹ 九つの垂れ布のついている天子の旗。[天子の旗が軍隊の行進を導くことを主さどる]—エリダヌス 45・ $\mu \cdot \omega \cdot 63 \cdot 60 \cdot 54$ /兎 1 (藪)。
- 221 天街² 天の街道。(日月五惑星の通り道) [関所や橋、国境をさぐることを主さどる]—牡牛 $\kappa \cdot \omega$ 。
- 222 天高⁴ 天空の高くひろく澄みわたっていること。(高い観象台) [八方の雲気を望むことを主さどる]—牡牛 $\iota \cdot 97 \cdot 104 \cdot 109/i$ (藪) $\tau \cdot 99 \cdot i$ (小)。
- 223 諸王⁶ 天子に封ぜられた諸国の王。[諸侯の存亡をうかがうことを主さどる]—牡牛 136・125・118・103・99・ $\tau/\iota \cdot n$ (小)。
- 224 五車⁵ 五種類の車—玉・金・象牙・革・木で飾っ

- た車。五帝の車。(五帝の車の車庫、五帝の坐席)
[天子の五つの兵器、五穀の収穫を主さどる]—駟
者 $\iota \cdot \alpha$ (Capella) $\cdot \beta \cdot \theta$ \cdot 牡牛 β 。
- 225 三柱⁹ 三本の柱。[No. 11] (鼎の三足)—駟者 $\epsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot \tau \cdot \nu \cdot \upsilon$ 。
- 226 天潢⁵ 天のため池。天の河。[橋・渡しを主さどる]
—駟者 $39 \cdot \varphi \cdot 19 \cdot \sigma \cdot \mu \cdot \lambda$ 。
- 227 咸池³ 古代神話によると、太陽が東から出て西に沈むまでの間に、日に一度水浴するという。その池を咸池という。黄帝が作ったと伝えられる楽曲の名。(魚を飼う池) [池や沼、そこにすむ魚やすっぽん雁などを主さどる]—駟者 ρ/λ (藪)。
- 228 参旗⁹ 参 [No. 234] の3星を描いた軍旗。(天の旗、天の弓) [弓の弦の張り方で、異変をうかがい、災難を防ぐことを主さどる]—オリオン $\theta^{1.2} \cdot 6 \cdot \pi^{1-6}$ 。
- 229 天関¹ 天の関所。(太陽や月が出入する天の門) [辺境、関門の閉鎖を主さどる]—牡牛 ζ 。
- 230 天園¹³ 天の果樹菜園。[No. 212]—鳳凰 $\delta \cdot$ エリダヌス $\chi \cdot \varphi \cdot \kappa \cdot s \cdot \iota \cdot \theta \cdot e \cdot f \cdot g \cdot i \cdot 41 \cdot \nu^{1.2}$ 。
- 231 觜宿 (觜觿)³ 觜はみみづくの頭上の毛角。角のどがったさき。くちばし。觜觿は海亀、正覚坊のこと。二十八宿の第20宿。白虎の首にあたる。
- (三軍の斥候。行軍する軍隊の貯蔵庫) [行軍中に必要なものを徴発することを主さどる]—オリオン $\cdot \varphi^{1.2}\lambda$ 。
- 232 坐旗⁹ 官位の上下によって定められた宮中の坐席を示す旗—駟者 $\psi^1 \cdot \phi^6 \cdot \phi^{4.5} \cdot \psi^2 \cdot \psi^7 \cdot \phi^3 \cdot \phi^8/\kappa$ (藪)。
- 233 司怪⁴ 異変、妖怪なことをさぐりうかがう官。[日月星辰の変異、鳥獣草木の妖変をうかがうことを主さどる]—牡牛 $139 \cdot$ 双子 $1 \cdot$ オリオン $\chi^{2.1}$ 。
- 234 参宿¹⁰ 参とは三。三つの星。第二十八宿の第21宿。白虎の胸にあたる。(天の市場、おのとまさかり、天の牢獄) [殺伐、はかり、辺境の城塞を主さどる] この星座の中に目立つ明るい三ツ星が参で、その南に並ぶ小さい三ツ星を伐という。伐はうちたたくこと。兵器。(天の武官)である。[北方や西方の異民族の外国のことを主さどる]—(参) オリオン $\zeta \cdot \epsilon \cdot \delta \cdot \alpha$ (Betelgeuse) $\cdot \gamma \cdot \kappa \cdot \beta$ (Rigel)。(伐) オリオン $42 \cdot \theta \cdot \iota$ 。
- 235 玉井⁴ 清く澄んで味のよい水の出る井戸。[飲料水を主さどる]—エリダヌス $\lambda \cdot \phi \cdot \beta \cdot$ オリオン τ 。
- 236 屏² へい。かきね。(便所の屏) [No. 42, 192]。[病気を主さどる]—兎 $\mu \cdot \epsilon$ 。
- 237 軍井⁴ 行軍中に飲料水をとる井戸。[軍隊に飲み水

わが国唯一の天体観測雑誌

天文ガイド

定価240円(〒45円) 76—6月号・毎月5日発売!

●6月号のおもな内容

- ★町の話にもなったウエスト彗星は、雄大な姿を夜明けの空に現わしました。写真で見るとクジャクのように長い尾が出ています。カラー3ページ、グラビア4ページを使って、この大彗星を誌上で再現しました。
- ★銀河のなかにアルコールがみつかったという記事が新聞に出ていました。ウイスキー? 日本酒? 理化学研究所の島誠さんが、宇宙空間の有機物について解説。
- ★6月24日朝、木星が月にかくれます。観測ガイドはおなじみの藤井旭さん。
- ★このほか、時の話、彗星会議の報告など。

火星

パトリック・ムーア 共著
チャールズ・A・クロス
斉田 博訳

火星には運河がある、火星人がいるらしいなど、この星は昔から話題の豊富なロマンに満ちた惑星です。宇宙探査船マリナー号は、火星の上空をまわり多数の写真を撮とり、観測をして、地球へ送ってきました。本書はアメリカ・ソ連の最新の情報、資料を使って描き出した火星の紹介です。運河はないのか? 火星の極冠は、氷か炭酸ガスか? ●A4判・2800円・好評発売中!

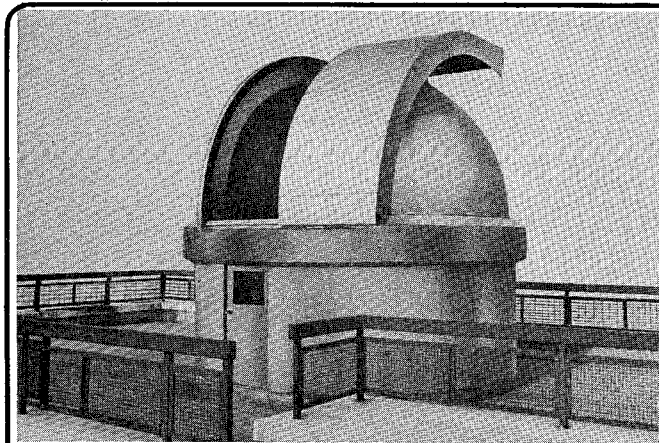
星のふるさと

星と空を愛する一主婦の体験をまとめた小さな本です。第一部「炎の上の火星」は、コンビナートの炎の上に昇る火星を観測したさいに、観測ノートに記した美しい星空への願いです。第二部「星のふるさと」は、少女の頃に星と親しむため、あの星、この星との出合いを短い文につづったしおりを、構成したものです。ユニークな読物形式です。 ●鈴木壽子<文>・B6変・550円・好評発売中

誠文堂新光社 東京都千代田区神田鍋町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1211

- を供することを主さどる]—兎 $\iota \cdot \kappa \cdot \lambda \cdot \nu$.
- 238 廁^シ4 かわや、便所。[No. 186] 古代人にとって廁は不浄な場所ではなく、精霊のすむ神聖な場所であった—兎 $\alpha \cdot \beta \cdot \gamma \cdot \delta$.
- 239 天屎^シ1 天矢と記す書もある。屎は大便。人体から排泄されるものに精霊の存在を信じていたのである—鳩 μ /兎 γ (藪)。
- 240 井宿 (東井)⁸ 井戸。参 [No. 234] の東側にあるので東井という。二十八宿の第22宿。南方を守る靈獸朱雀の頭首にあたる。[天の南門、物見台][法令は公平でなければならぬところから、水準器を主さどる]—双子 $\mu \cdot \nu \cdot \gamma \cdot \xi \cdot \epsilon \cdot 36 \cdot \zeta \cdot \lambda$ 。井宿に鉞¹が所属する。まさかり—双子 η 。
- 241 五諸侯⁵ 5人の諸侯(天子を補佐する帝師、帝友、三公、博士、太史をいう)[疑を断ち、善をあげ、悪をせめ、不慮のできごとにそなえること、陰陽をととのえ、政治の得失を察することを主さどる]—双子 $\theta \cdot \tau \cdot \iota \cdot \nu \cdot \phi / \phi \rightarrow \kappa$ (小)。
- 242 積水¹ 貯えた水。[No. 206 参照] 酒食に供える水である。[水害をうかがうことを主さどる]—馭者 65/双子 o (上・藪)。
- 243 積薪¹ 積み重ねたたきぎ。調理場に供する薪である—双子 κ / χ (上田)/蟹 μ (小・藪)。

- 244 南河³ (天の関門、南の宮殿)[天の関所、橋を主さどる]—小犬 $\epsilon \cdot \beta \cdot \alpha$ (Procyon)。
- 北河³ (北辺の守備、北の宮殿)[上に同じ]—双子 $\rho \cdot \alpha$ (Castor) $\cdot \beta$ (Pollux)。
- 245 四瀆^{シトク}4 4大河(済河・黄河・淮河・長江)。瀆は独立して源を発し、海に入る大河のことで、上記の4大河は河川の精霊を代表するものであった—双子 38・一角獣 15・13・8。
- 246 水位⁴ 河川湖沼の水面の高さをいう。[水準器によって水位をはかり、洪水を前以て知ることを主さどる]—小犬 6・11・蟹 8・ ζ /蟹 $\lambda \cdot \mu$ ・双子 85・74 (上)/双子 68・ $f \cdot g$ ・85 (小)/双子 68・74 (藪)。
- 247 天樽³ 水や酒をいれるたる。[かゆをついで貧民を救済することを主さどる] 双子 57・ $\delta \cdot \omega$ /63 (小)。
- 248 闕丘² 宮門の両側にある小高い丘。物見のほかに新しい法令が出るところに掲示した。[宮城の門を主さどる]—一角獣 $\delta \cdot 18/22$ (藪)。
- 249 軍市¹³ 軍隊の中で開かれる市場—大犬 $\beta \cdot \nu^3 \cdot \pi \cdot o \cdot \xi$ /兎 17 (藪)。
- 250 野鷄¹ 雉。きじは孤高を保ち、勇しく艶美な姿をもつ鳥として珍重され、天子の祖廟に供える六禽のひとつに数えられた。[異変、妖怪を主さどる]



営業品目

- ★天体望遠鏡ならびに双眼鏡
- ★天体写真撮影用品及び部品
- ★望遠鏡各種アクセサリ
- ★観測室ドームの設計・施工



★総合カタログ
ご希望の方は切
手 300 円同封お
申込みください

- 大犬 $\nu^2/\nu^2 \rightarrow \beta$ (藪).
- 251 狼^{ウルフ} (天狼)¹ おおかみ。野武士, 野盗。狼は虎と共に残忍貪欲な動物とされた。〔侵掠を主さどる〕古代伝説に, 漢水の水源地である幡冢山の精が天に昇って狼となったという説もある—大犬 α (Sirius).
- 252 弧矢^{コウシ}⁹ 弓矢。邪気をおいはらう魔よけの意味がある。その矢は上記の狼星の方向に向いている。〔盗賊に備えることを主さどる〕—大犬 $\delta \cdot \eta \cdot \kappa \cdot \theta$.
- 253 老人¹ 南極老人。寿星とも記す。としより。南極星の化身とされる。〔長生きを主さどる〕—竜骨 α (Canopus).
- 254 丈人² としより。杖をついて歩く人の意味で, 老人をさす。転じて徳行・指導力をもつ長老をさす農村の指導者 [No. 128]。〔長寿・孤独老病を救済することを主さどる〕—鳩 $\alpha \cdot \epsilon$.
- 255 子² こども。下記と共に農村の勤きて, 〔老人に仕えることを主さどる〕—鳩 $\lambda \cdot \beta$.
- 256 孫² まご。〔同上〕—鳩 $\kappa \cdot \theta$.
- 257 水府⁴ 百川を支配する水神のいる所。(水を管理する官) 〔堤防・道路・水路を主さどる〕—オリオン $\nu \cdot \xi \cdot 72 \cdot 69$.
- 258 鬼宿 (輿鬼)⁵ 地上に残る死人の精霊。人が死ぬと, 心をつかさどる魂は天にのぼって神となり, 形をつかさどる魄は地上に残って鬼とよばれる精霊となる。輿鬼とは輿(コシ)をかついだ鬼。二十八宿の第23宿。朱雀の目にあたる。(天の目) 〔よこしまな陰謀を主さどる〕—蟹 $\theta \cdot \eta \cdot \gamma \cdot \delta$.
- 259 燿^{カン}⁴ 切迫した情況をとりあえず遠方にしらせるため火をもやし, 煙を上げて急報するのろし。〔辺境地方の物見台でのろしをあげ緊急事態にそなえることを主さどる〕—蟹 $\phi \cdot \lambda \cdot \chi \cdot 15$.
- 260 天狗⁷ 天の犬。[No. 122] 〔財産を守ることを主さどる〕—帆 $e \cdot d \cdot w$ ・羅針盤 $\beta \cdot \alpha \cdot \gamma \cdot \delta$.
- 261 外厨⁶ 宮廷の外にある調理場。[No. 28, 29] 〔宗廟に料理を供えることを主さどる〕—海蛇 $c \cdot f \cdot 15 \cdot 14$ /一角獣 30 (藪).
- 262 積戸^シ気¹ 積み重ねられた屍体から立上る妖気。鬼宿の中央に淡くもやもやとみえるものをさす。[No. 203, 258] 〔死亡, 精霊のまつりを主さどる〕—M44 (Praesepe).
- 263 天紀¹ [No. 71] ここでは歳月の意味。〔鳥獣の年齢を知ることを主さどる〕—帆 λ /海蛇 12 (藪).
- 264 天社⁶ 土地の神。土の神をまつる神殿—帆 $\gamma \cdot b \cdot \delta \cdot \kappa \cdot N$ /船尾 ν (藪).
- 265 柳宿⁸ やなぎ。二十八宿の第24宿。朱雀の口ばしにあたる。(天の調理場の料理頭) 〔料理にうまく味つけすることを主さどる〕—海蛇 $\delta \cdot \sigma \cdot \eta \cdot \epsilon \cdot \rho \cdot \zeta \cdot \omega \cdot \theta$.
- 266 酒旗³ 酒の製造, 販売を管理する官の旗。市中の酒屋であることを示す旗。〔宴会, 飲食を主さどる〕—獅子 $\phi \cdot \xi \cdot \omega$ /六分儀 1 (小).
- 267 星宿 (七宿)⁷ ほし。七つの星は日月五惑星をいう。二十八宿の第25宿。朱雀ののどくびにあたる。(天の都) 〔衣服の文様や刺繍, 突発的におこった非常の事件に対処することを主さどる〕—海蛇 $\alpha \cdot \tau^{1,2} \cdot \iota \cdot 27 \cdot 26$.
- 268 軒轅^{ケンエン}¹⁷ 伝説上の皇帝である黄帝の異名。黄帝は軒轅(地名)の丘の上に住んでいたところから軒轅氏とよばれた。(後宮, 后妃をとりしきる官, 東の丘, はかり) 〔雷雨の神を主さどる〕—山猫 α ・小獅子 $15 \cdot \kappa \cdot \lambda \cdot \epsilon \cdot \mu \cdot \zeta \cdot \gamma \cdot \eta \cdot \alpha$ (Regulus)・ $\rho \cdot 31$.
- 269 天稷⁵ 天のきび。きびは穀物を代表する。(農事を職掌とする官)—帆 $97G \cdot o$ (藪).
- 270 天相³ 天の宰相。[No. 26] 〔服飾を主さどる〕—六分儀 $18 \cdot \epsilon$.
- 271 内平⁴ 刑罰を公平にさばく裁判官。[No. 14]—小獅子 $21 \cdot 10 \cdot 20/30$ (藪).
- 272 張宿 (張喙)⁶ ひろがった鳥の餌袋。二十八宿の第26宿。朱雀の餌袋にあたる。(天の調理場) 〔飲食, 賜物を主さどるまた宗廟の祭に用いる衣服を主さどる〕—海蛇 $\kappa \cdot \nu^{1,2} \cdot \lambda \cdot \mu \cdot \phi$.
- 273 天廟¹⁴ 天子の先祖を祭るおたまや—羅針盤 θ (藪)
- 274 翼宿²² つばさ。二十八宿の第27宿。朱雀のつばさにあたる。(天の音楽を主さどる官庁)。(俳優・楽人) 〔異民族の遠来の客を主さどる〕—コップ $\alpha \cdot \gamma \cdot \zeta \cdot \lambda \cdot \nu \cdot \eta \cdot \delta \cdot \iota \cdot \kappa \cdot \epsilon \cdot \theta \cdot \beta$ ・海蛇 χ .
- 275 東甌⁵ 東方にある越の国。(南方蛮夷の星)—帆 $191G$ (藪).
- 276 軫宿⁴ 車や輿の台の横木。二十八宿の第28宿。(天子の補佐官) 〔宰相, 馬車・騎兵, 荷物の運搬を主さどる〕—鳥 $\gamma \cdot \epsilon \cdot \delta \cdot \beta$.
- 277 左轄¹ 轄は車の車軸と車輪がすれあって出す音。車輪が抜け出ぬように車軸の末端にさしこむくさび。(天子と同姓の王侯) 〔王侯を主さどる〕—鳥 η .
- 278 右轄¹ 上に同じ。(天子と異姓の王侯) 〔上に同じ〕—鳥 α .
- 279 長沙¹ 湖南地方の政治・軍事・文化の中心地。(木棺) 〔寿命を主さどる〕—鳥 ζ .
- 280 青丘⁷ 南海にある神仙の住む所。ここには不老長寿の仙草霊薬があるといわれる。東方にある異民族の国。朝鮮—海蛇 $\beta \cdot N \cdot \xi/143G$ (藪).
- 281 軍門² 軍隊の門。行軍中は二つの軍旗を以て門とした。[No. 193 参照] (天子の六宮の門) 〔軍隊

- の物見台, 武威を示す軍旗を主さどる]—帆 303G (藪).
- 282 器府³² 楽器をおさめる倉庫. [音楽を主さどる]—ケンタウルス 43 G (藪).
- 283 土司空⁴ 水利土木を職掌とする官. [No. 187] [国境地方を主さどる]—海蛇 β (藪).
- (補注) 蘇頌星図 (写真版) は, 藪内清氏によれば, 北宋の元豊年間 (1078~1085) の観測にもとづいて描かれたものである.

参 照 文 献

- 1) 史記天官書 漢書天文志 晋書天文志 隋書天文志 宋史天文志 歩天歌 唐開元占経 通占大象歴星経 蘇頌星図 (新儀象法要所収) 淳祐 (蘇州) 天文図

- 2) 吉田光邦訳: 史記天官書 (中国古典文学全集 第4巻 史記 上) 1958.
Ho Peng-Yoke (何平郁): The Astronomical Chapters of The Chin Shu (晋書天文志), 1966.
Needham (曹漢訳): 中国之科学与文明 第5册 (天文学) 1975.
藪内清・山田慶児・坂出祥伸訳: 晋書天文志 (世界の名著 続第1巻—中国の科学— 1975)
- 3) 書経 詩経 周礼 礼記 左伝 爾雅 淮南子 楚辞 吕氏春秋 国語 文選 玉海 太平御覧 文献通考 歴代職官表
- 4) 清永嘉一: 史記天官書 恒星考 (東方学報・京都第14册第3分) 1944.
藪内 清: 中国・朝鮮・日本・印度の星座 (新天文学講座 I.) 1957.
藪内 清: 中国における星座の成立過程 (竜谷大学論集 No. 400・401 合併号, 1973.)

雑 報 [II]

1975 年中の日本人による新天体の発見

新天体, 特に彗星・新星の発見では日本人の活躍が大きい. 特に 1975 年は, 新彗星 5 個, 新星 2 個であって, 1970 年の新彗星 4 個, 新星 2 個の記録を更新した.

また 1 人の観測者が 1 夜の内に 2 個の新彗星を発見したのも最初の記録であろう. 1975 年内に日本人によって発見された新天体は次の通り. (時刻は U.T.)

West・Kohoutek・Ikemura 彗星 (1975 b)

1975 年 3 月 1 日 12 時 30.7 分 池村俊彦氏

Kobayashi・Berger・Milon 彗星 (1975 h)

1975 年 7 月 2 日 17 時 01 分 小林 徹氏

1975 年射手座新星

1975 年 7 月 13 日 12 時 20 分 桑野善之氏

1975 年白鳥座新星

1975 年 8 月 29 日 11 時 30 分 長田健太郎氏他 3 名と

1 グループ

Mori・Sato・Fujikawa 彗星 (1975 j)

1975 年 10 月 5 日 17 時 50 分 森 敬明氏他 2 名

Suzuki・Saigusa・Mori 彗星 (1975 k)

1975 年 10 月 5 日 18 時 40 分 鈴木繁道氏 他 4 名

Sato 彗星 (1975 q)

1975 年 12 月 5 日 18 時 15 分 佐藤安男氏

(香西洋樹)

◇ 5 月 の 天 文 暦 ◇

日 時	記 事
5 18	立 夏 (太陽黄経 45°)
7 14	上 弦
10 1	水 星 留
13 2	月 最近
14 5	望
20 21	水 星 内合
21 6	下 弦
7	小 満 (太陽黄経 60°)
25 9	月 最遠
29 11	朔

1976 年 2 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	0,	0	6	0,	0	11	0,	0	16	—,	—	21	1,	4	26	0,	0
2	0,	0	7	0,	0	12	0,	0	17	1,	3	22	—,	—	27	1,	1
3	0,	0	8	0,	0	13	1,	11	18	—,	—	23	—,	—	28	—,	—
4	0,	0	9	0,	0	14	1,	17	19	—,	—	24	0,	0	29	—,	—
5	—,	—	10	1,	3	15	1,	10	20	—,	—	25	0,	0	*	*	*

(相対数月平均値: 4.3)

昭和 51 年 4 月 20 日	発 行 人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印 刷 所	〒112 東京都文京区水道 2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 300 円	発 行 所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話武蔵野 31 局 (0422-31) 1359	振替口座東京 6-1 3 5 9 5